

平成 31 年 3 月 22 日  
一 橋 大 学

### 平成 32 年度に実施する入学者選抜について（追加）

平成 30 年 4 月 3 日に公表した「平成 32 年度の入学者選抜について」の中で、後日公表することとしていた英語の認定試験<sup>\*1</sup>の具体的な活用方法及び共通テストの記述式問題（国語，数学）の配点やその他の事項について、下記のとおりとします。

また、平成 33 年度に実施する入学者選抜については、平成 32 年度に実施する入学者選抜の内容と同様の予定ですが、変更が生じた場合は、改めてお知らせします。

### 記

#### 【英語の認定試験について】

平成 32 年度に実施する一般選抜について、以下の(1)～(3)のうちいずれか1つを本学の出願要件とします。

- (1) 認定試験の成績が CEFR 対照表で A2 レベル以上であること。平成 32 年度に実施する一般選抜については、平成 32 年 4 月～12 月までに受検した認定試験の得点が大学入試センターの大学入試英語成績提供システムによって本学に提供されること。
- (2) CEFR の対照表で A2 レベル以上に相当する英語力があることを明記した高等学校等<sup>\*2</sup>による証明書が提出されること。
- (3) 何らかの理由で上記(1)と(2)のいずれも提出できない場合は、その理由を明記した書類が提出されること。

上記(2)の証明書及び(3)の理由書は、本学の指定する様式に記入して提出していただきます。その様式と内容については、今後検討の上、できるだけ速やかに公表します。

なお、平成 32 年度よりも前の既卒業学生については、(1)ないし(3)が適用され、(2)は適用されません。

#### 【共通テスト記述式問題（国語，数学）について】

国語の記述式問題の配点については、50 点を満点とし、マークシート式問題の配点 200 点＋記述式問題の配点 50 点＝250 点を 200 点に換算して評価します。

数学の記述式問題については、正誤のみの判定であること及びマークシート式問題と一体で出題され記述式問題にも配点がなされることから、従来のマークシート式と同様の取扱いとします。

**【一般選抜における調査書の活用について】**

合否ラインで志願者が同点で並んだ場合、調査書を判断材料として活用します。調査書の内容を質的な観点から点数化して評価し、総合点の高い者から順番に合格とします。

**【学校推薦型選抜における推薦書、調査書、自己推薦書の活用について】**

推薦書、調査書を合せて40点、自己推薦書を10点として点数化し、第2次試験の選抜に活用します。推薦書、自己推薦書の様式については、別紙のとおりとします。

**【web 出願について】**

一橋大学では平成32年度に実施する入学者選抜からweb上にて出願を受け付けることとします。

---

※<sup>1</sup> 大学入試センターが「大学入試英語成績提供システム参加要件」を満たしていると認定した民間の資格・検定試験のこと

※<sup>2</sup> いわゆる高等学校のほか、中等教育学校、専修学校の高等課程など、その卒業・修了あるいは卒業・修了見込みによって本学が出願資格を認める学校をすべて含みます。

(別紙)

※受験番号

※印欄は記入しないでください。

## 推薦書

(平成) 年 月 日

一橋大学  学部長 殿

(四角の枠内には、推薦する学部名を記入してください。)

学校所在地

学校名

学校長氏名

印

以下の者は、推薦入試の推薦要件・出願資格に該当するものと認め、以下のとおり責任をもって推薦します。

卒業（見込）学科名

ふりがな

志願者氏名

性別（ ）

生年月日（昭和・平成） 年 月 日生

推薦する学部 (四角の枠内には、学部名を記入してください。)

学部

推薦理由 (学力の3要素に関する評価を含めた推薦理由を記入してください。)

※印欄は記入しないでください。

入学志願者氏名

## 自己推薦書（表紙）

◇ 今までの学校内外での主体性を持って多様な人々と協働して学んだ活動・経験（出願要件を含む。）、その内容を踏まえた自分の素質・才能・適性について、書籍・人物などで感銘を受けたもの・尊敬するものなどがあればその名称と理由について、これから目指したいもの、一橋大学で取り組みたいこと、将来の希望などについて、自己をアピールする「自己推薦書（内容）」をA4判の用紙（様式・枚数自由）で作成し、この用紙を表紙として提出してください。

◇ 出願要件に関する書類を自己推薦書に添付資料として併せて提出してください。  
なお、出願要件（F）及び（G）に該当することを証明する書類等はコピー（A4判に拡大・縮小したもの）を、自己推薦書に添付資料として併せて提出してください。

（本や雑誌等の掲載資料は表紙と掲載箇所のコピーを提出してください。）

その際、以下に「証明書類（○○○○○○○○）」と記入してください。

また、証明する書類等が出願時には発行されておらず、提出できない場合には、下記に「証明書類を提出できない理由書」と記入し、同題名とその理由を説明書きしたA4判の用紙を添付資料として提出してください。

◇ 出願要件（F）及び（G）に該当することを証明する書類等の原本は、第2次試験当日必ず持参してください。

※ 上記資料は、この表紙と推薦書（内容）及び添付資料を重ね、左上角をホチキスで綴じて提出してください。

添付資料

1

2

3

4